

「専門分野を学ぶことで強みを見つける」

専門分野の「学び」を自ら積極的に深めることで、生徒の多様な考えを引き出すプロフェッショナルを目指します。

【専門性に根ざした実践力を持った教員の育成を目指す】

人文社会系諸科学に基づいた専門的な知識を身に付けた教育実践力を持った教員の育成を目的とします。地歴科・公民科教員にとっての基礎を育成する「専攻基礎科目」を学んだ後、専門的資質や能力を高めるための「専攻科目」を中心に学ぶことで専門性を深めます。

詳細はコチラ



【 4年間の学び 】

1年次は基本的なことを広く学び、2年次以降は、地理学・史学・哲学・法経社の4つのコースに分かれて、専門性を深めていきます。どのコースでも地歴科・公民科教育学を共通して学びます。3年次になると各コースの中で所属するゼミを決定し、より専門的な研究を進めるとともに、教育実習などを通じて教職に向けた実践も経験します。4年次には、教員採用試験などに取り組みつつ、卒業論文の完成を目指します。

史学コースでは、3年次に日本史書講読Ⅱという演習が開講されます。重要文献や歴史史料の読解・解釈してきたものを発表してもらいます。実践的に日本史に親しんでもらいつつ、日本史に対する深い理解と高校生に対する指導力の涵養を狙っています。

取得できる免許

【卒業要件に含める免許状】
高等学校教諭一種免許状
(地理歴史および公民)

【取得を優先して薦める免許状】
中学校教諭一種免許状(社会)
特別支援学校教諭二種免許状



調査発表(日本史特論Ⅱ)



グループワークによる史料解釈(日本史書講読Ⅱ)



近現代史料の読解に挑戦(日本史特論Ⅱ)

先輩 Voice

学校教員養成課程 高等学校教育専攻 地歴・公民専修 史学コース4年
愛知県立瑞陵高等学校出身



幅広い社会科分野の学びと 専門領域の探究を重ねて 自信を持って授業を届ける教員に

社会科を幅広く扱うカリキュラムが特徴です。4年間を通して専門領域の探究と幅広い知識の習得を重層的に積み重ねることが出来ます。私は日本史ゼミに所属し、明治期を中心とした医療史についての講義がとても興味深く、自主的に関連動画や書籍で知識を深めています。地誌特論ではオセアニア地誌という馴染みのない分野を扱っていますが、先生の説明に引き込まれて学びの面白さを実感しています。各先生の専門分野に基づいて丁寧に教えていただけるので、学びの満足度が高いです。世界史や地理も学ぶことで自信が付き、日本史についてより良い授業を提供する基盤ができました。

■ 私の時間割 (2年生後期)

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
1時限			学校体験活動Ⅰ	中東社会科教育法Ⅰ	道德教育の理論と方法
2時限			学校体験活動Ⅰ	地域史演習Ⅱ	
3時限	哲学史概説Ⅱ	学校教育におけるICT活用	この時間を使って「学校体験活動Ⅰ」の事後指導やガイダンスを行うことがあります。	日本史概説Ⅱ	
4時限					社会学概論
5時限	キャリアデザインⅡ			歴史と環境	

*上記時間割で示した授業科目以外に2年次前期の必須科目として遠隔方式(オンデマンド型)で実施される「発達障害のある児童生徒理解基礎」や「外国人児童生徒支援教育」があります。